

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	研究科造園学専攻			
科目名称	ランドスケープ特別演習				授業形態	演習		
科目コード	642602	単位数	8単位	配当学年	実務経験教員	アクティブラーニング	○	
担当教員名	岡島 直方						ICT活用	
授業概要	修士学生の関心のある事柄を論文としてまとめていくことになるので、テーマと関係する既往研究については、積極的に収集し、論点について研究していく必要がある。							
関連する科目	「ランドスケープ特論Ⅰ」、「ランドスケープ特論Ⅱ」、「近代庭園学特論Ⅰ」、「近代庭園学特論Ⅱ」							
授業の進め方と方法	テキストや配布するプリント、関連書籍などを読みながら進めていく。大学院生としてのテーマは、必ずしも授業計画に登場するものが主題となるとは限らないであろうから、随時本人のテーマについて検討を行う。							
授業計画	¹ 年上 1: オリエンテーション (大学院生のガイダンスを行う) 2: 卒論と修士論文 (どのように両者は異なるのか) 3: 既往研究と研究構想1 (既往研究の事例から学ぶ) 4: 既往研究と研究構想2 (既往研究の事例から学ぶ) 5: 既往研究と研究構想3 (既往研究の事例から学ぶ) 6: 既往研究と研究構想1 (既往研究の事例から研究構想と作法を学ぶ) 7: 既往研究と研究構想2 (既往研究の事例から研究構想と作法を学ぶ) 8: 既往研究と研究構想1 (研究テーマを検討する) 9: 既往研究と研究構想2 (研究テーマを検討する) 10: 研究構想1 (研究計画を立てる) 11: 研究構想2 (研究計画を立てる) 12: 研究実施1 (第1章に関わる調査を開始する) 13: 研究実施2 (第1章に関わる調査を開始する) 14: 研究実施3 (第1章に関わる調査を開始する) 15: 研究実施4 (第1章に関わる調査を開始する、学期のまとめ) 16: 既往研究とのつきあわせ1 (調査の継続とともに既往研究からも学ぶ) 17: 既往研究とのつきあわせ2 (調査の継続とともに既往研究からも学ぶ) 18: 調査結果のまとめ1 (ここまでの調査結果を論文形式にまとめる) 19: 学会プレゼンの作成1 (途中までの成果を学会のポスター形式にまとめる) 20: 学会プレゼンの作成2 (途中までの成果を学会のポスター形式にまとめる) 21: 学会プレゼンの作成3							
授業の到達目標	ランドスケープの内的、外的なありようについて過去または現代社会の中に現れている状態について分析し傾向を明らかにする。							
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・技能と教養-(1)食・緑」の専門分野における高度な知識・技能/1. 知識・技能と教養-(2) 未知問題解決のために知識・技能を創造的に活用できる。/2. 人間力・社会性・国際性-(4) 自分の文化や異なる文化を理解でき、文化を超えて交流できる。							
授業時間外学習【予習】	各々予習を30分から1時間程度必要とする。							

授業時間外学習【復習】	各々復習を30分から1時間程度必要とする。
課題に対するフィードバック	進行中の内容のチェックを適宜行う。レポートなどの課題やデータを通じて、フィードバックを行う。
評価方法・基準	受講態度(50点)、 レポート(50点)
テキスト	適宜配布する。
参考書	関連書籍：授業のはじめに紹介する。
備考	